



第34回 国民文化祭・にいがた2019  
第19回 全国障害者芸術・文化祭にいがた大会

プライベート

# 日本近代化のパイオニアたち 現代情報化社会の先達

前島密 - 大橋佐平 - 大橋新太郎 - 坪谷善四郎 - 市島謙吉



東京市立日比谷図書館



開館当時の私立大橋図書館  
(博文館新社、三康図書館提供)



郵便物遞送人(模型) 郵政博物館蔵

2018年


9月14日(金) ▶ 11月11日(日)

開館時間 / 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日 / 月曜日(9月17日・24日、10月8日は開館)、  
9月18日(休)、9月25日(休)、10月9日(休)

入館料 / 一般500円、学生(高校生以上)300円、  
子ども(中学生以下)無料

※20名以上の団体は、各料金から2割引

主催 / にいがた文化の記憶館、 公益財団法人  
新潟県文化振興財団  
新潟日報社、  
共催 / 新潟日報美術振興財団、BSN新潟放送、NI T  
後援 / 新潟県  
協力企業 / 田村紙商事株式会社  
協力 / 郵政博物館、前島記念館、新潟県立図書館、  
博文館新社、三康図書館

会期中の土日祝は、子どもと一緒に入館する大人は割引料金に!



にいがた  
文化の記憶館

新潟日報メディアシップ5F  
TEL.025-250-7171



# 日本近代化のパイオニアたち 現代情報化社会の先達

前島密 - 大橋佐平 - 大橋新太郎 - 坪谷善四郎 - 市島謙吉



Hisoka Maejima



Sahei Oohashi



Shintaro Oohashi



Zenshiro Tsuboya



Kenkichi Ichishima

明治元年11月19日(西暦1869年1月1日)、新潟が日本で五番目の港として開港しました。2019年1月、新潟は開港150年を迎えます。

外国への扉が開いた明治時代、日本は西欧の制度や文化を採り入れて近代化を推し進めました。鉄道などのインフラ整備から始まって、生活が様変わりしていくなか、新潟県人が多彩な分野で先駆的な活動をしました。

郵政事業などの通信網を導入した上越市出身の前島密(1835～1919年)は現代の情報化社会の基礎を築きました。

出版社の博文館を成功させた大橋佐平(長岡市出身、1835～1901年)、新太郎(長岡市出身、1863～1944年)父子は私立の図書館「大橋図書館」を創設し、部下で同図書館館長を務めた坪谷善四郎(加茂市出身、1862～1949年)は公立の日比谷図書館の設立に尽力しました。阿賀野市出身の市島謙吉(1860～1944年)は早稲田大学の大学図書館初代館長を務め、さらに日本図書館協会初代会長として図書館の近代化を図りました。彼らの業績は現在のインターネット検索=データベースの原点となるものでした。

本展では現代情報化社会のパイオニアたち—前島密、大橋佐平・新太郎父子および坪谷善四郎、市島謙吉—を紹介します。

画像提供：郵政博物館、博文館新社、三康図書館

## 関連イベント① 神林恒道館長による講演会

「現代情報化社会の先達

—前島密・大橋佐平・大橋新太郎・坪谷善四郎・市島謙吉—(仮題)

講師 / 神林 恒道 館長

日時 / 10月24日 [水] 午後2時～3時30分(予定)

会場 / 新潟日報メディアシップ2階 日報ホール

参加費 / 500円(会期中有効の招待券付き)

※当館パスポート会員は無料

定員 / 100名 ※先着順、要事前申し込み

お申し込み / 往復はがき、FAXまたはメールのいずれかに「①氏名、②住所、③電話(FAX)番号」をご記入のうえ、当館までお送りください。後日、受講券をお送りします。

## 関連イベント② 月いちレクチャー(学芸員による解説会)

「前島密」

日時 / 9月22日 [土] 午後2時から(約1時間)

「大橋佐平・新太郎父子、坪谷善四郎、市島謙吉」

日時 / 10月27日 [土] 午後2時から(約1時間)

各回とも、

会場 / にいがた文化の記憶館 展示室

参加費 / 無料(当日の入観券が必要。パスポート会員は不要)

※事前申し込み不要(当日は直接当館へお越しください)

### 次回の企画展示

「ボーダレス文学世界 大衆文学編  
吉屋信子・坂口安吾・山岡荘八」

11/23 [金・祝] → 2019/1/20 [日]

### 會津八一記念館のご案内

「あをによし・やまとしうるはし  
奈良大和路の美  
写真家・小川光三の仕事と飛鳥園」

9/13 [木] → 12/9 [日]

※ 展覧会名やイベント名は仮称です。会期や事業の内容などは変更することがあります。

## NMMC にいがた文化の記憶館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1  
新潟日報メディアシップ5階  
TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040  
URL. <http://nmmc.jp>

～ご来館のお客様へ～

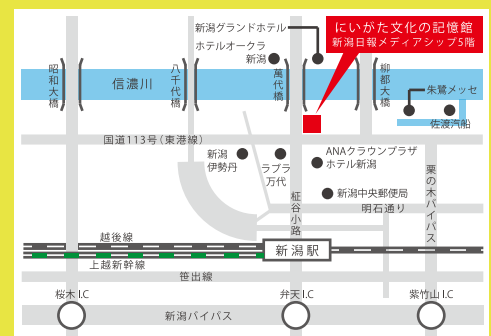
開館時間(10:00～18:00、月曜休館)  
以外は、新潟日報メディアシップ  
のエレベーターは5階に止まりま  
せんので、ご注意ください。

### 交通のご案内

新潟駅から タクシー約5分 徒歩約15分  
新潟空港から タクシー約15分

### 駐車場のご案内

メディアシップ駐車場(24時間)  
220円/30分(夜間最大料金あり)  
時間貸しスペースは3、4階(77台)です。  
万代シティ共通駐車サービス券をご利用いただけます。  
当館では駐車券の無料券を発行していません。予めご了承ください。  
周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などがございます。



割引券  
一般・学生・高齢者  
料金  
※ 新潟日報メディアシップ5階  
にいがた文化の記憶館  
の受付にてお申し込み  
ください。  
(印刷不可)  
WEB版